



# 第2弾！今注目のナッジを 健康行動に活用するには ～ナッジの健康行動理論の関係～



**3.26.2022 (Sat)** 13:30-16:30 (受付 13:15)

開催形態：Zoom を用いたオンラインセミナーとグループワーク

参加費：無料

非会員は入会手続の上、参加可能です。 入会金免除。

お納めいただいた年会費は 2022 年度の会費に充当します。

(入会申込フォームの入会年度 2022 年度、メッセージ欄に「公開学習会参加」とご入力ください)

## ナッジ (Nudge) とは

“肘で軽く突つつく”ように、強制や金銭的動機付けに頼らず、人々を賢い選択へと導く、ちょっとした工夫のことを言います。この行動経済学に基づく理論を発表した R セイラー教授が、2017 年、ノーベル経済学賞を受賞したことで一躍注目を浴びました。2018 年には、小泉進次郎氏が自身のブログで“Nudge × 社会保障”を紹介しています。今では、政策だけでなく、SDGs の達成を目指す企業活動、受診率向上を目指す厚生行政など、様々な分野で活用が進んでいます。

昨年度、本研究会では、「今、注目のナッジを健康行動に活用するには～ナッジの基本と活用方法～」というテーマで公開学習会を行いました。竹林正樹先生（青森県立保健大学）をお招きし、ナッジの基本や活用方法について学習しました。

今年の学習会では、昨年に引き続き、ナッジをテーマとした公開学習会を企画し、ナッジと健康行動理論には重なる考え方があることに着目して、健康行動に活用する手立てを検討していきます。また、昨年度、大変好評だった竹林正樹先生をお招きしてご指導・講評をいただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

参考文献) リチャード・セイラー、キャス・サンステーン、遠藤真美訳。「実践行動経済学—健康、富、幸福への聡明な選択」東京：日経 BP 社、2009.

内容 (予定) :

指導・講評 竹林 正樹 氏 (青森県立保健大学)

1. 学習会テーマの趣旨説明

2. 委員からの提案：健康行動理論とナッジについて

3. グループワーク

参加申込方法：HP「公開学習会参加申込フォーム」よりお申込みください。

<http://nkkgeiyo.ac.jp/cn49/pg4596.html>

お問合せ先：一般社団法人日本健康教育学会 栄養教育研究会

委員長 中西 明美



[nakanisi@eiyo.ac.jp](mailto:nakanisi@eiyo.ac.jp)



申込フォーム